

第8期第2回豊中市文化芸術振興審議会

日 時 令和3年（2021年）8月20日（金）午後1時～2時30分
会 場 豊中市役所第二庁舎 4階南会議室
委 員 委員：橋爪（会長）、藤野、上田、高木、永田、山下、原
欠席：大槻、鶴身、濱田（敬称略）
事務局 長坂、玉富、林、西岡、原田、眞田
傍聴者 0名

[開会]

事務局○第8期第2回豊中市文化芸術振興審議会を開催する。

今回は緊急事態宣言発令中であるため、橋爪会長と高木委員にのみ来庁いただき、その他の委員についてはオンラインでの参加とする。本日は第8期の審議会の第2回目であり、前回昨年度11月以来の開催で、今年度としては1回目の開催となる。

事務局○（事務局紹介）

（前回の振り返りと議事録の確定）

事務局○（参考資料1に基づき、第1回の振り返りと議事録の確定について説明）

- 審議会の意見を受け、豊中市文化芸術推進基本計画を令和3年3月に策定した。委員の皆さまには、策定にあたり様々なご協力をいただき、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

（今後の審議会スケジュール）

事務局○（参考資料2に基づき、スケジュールを説明）

- 議題の1と2については本日の議論をふまえ、今後、メール等で引き続きやりとりさせていただきたい。ご意見をいただいて調整を行った後、11月に第8期第3回審議会を開催し、確定したものを報告する。

1. 令和2年度文化芸術推進プラン改訂版に基づく施策実施状況（案）について

事務局○（資料1に基づき説明）

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの事業が中止や延期となり、また実施できた場合も定員の制限などがあったため、当初立てた目標からは大きく下回った。
- 平成30年度から令和2年度を対象としたプランであり、今回が最終年度の進捗管理であるため、総括を行っている。
- 資料1-2の評価について、令和2年度ベースではなく、新型コロナウイルスの影響が比較的少なかった令和元年度をベースに行っている。

会 長○資料1-1の4. 総括や各プログラムの意見について、また、資料1-2の事務局

評価を中心にご意見をいただきたい。

委員○資料1-1の4.総括の「4.文化芸術の力を活かした街づくりの推進」について、「文化芸術の本質的価値、経済的価値を活かした取組みを実施」とあるが、豊中市は観光資源等に乏しく、今まで行ってきた事業については、社会問題の解決など社会包摂型の事業が中心で、経済的価値に活かす事業は見られない。ここに経済的価値を活かした取組み記載するのは、少し違和感を覚える。

事務局○委員のおっしゃる通り、今までは経済的価値を活かした取組みはできておらず、令和2年度までを計画期間とするプランの総括として、記載方法を再度検討する。加えて申し上げますと、産業振興課で新産業ビジョンの策定を予定しており、その中で文化芸術の経済的な価値を活用できないか検討しているところである。

委員○実績値について、令和2年度はもちろん令和元年度も中止のイベントがある中で、達成率が80%超となっているのは、果たして実態に即したもののなのかという違和感がある。そもそも文化芸術を数値的に評価することの疑問もある。説明を聞くと納得はできるのだが、少ない母数で実績値や評価を出すことにいささか違和感がある。

事務局○ご指摘の通りだが、行政が行う事業については進行管理をするうえで、一定評価をし、公表しなければならないことをご理解いただきたい。

委員○承知した。

会長○コロナ禍のため、評価が難しい部分はある。引き続き、メール等でのやりとりにて調整をしていく。

2. 令和3年度以降における文化芸術推進基本計画進捗状況指標の策定について

事務局○（資料2に基づき説明）

○数値目標について、コロナ禍による影響が予測不可能であるため、令和3年度については目標値を設定せず、参考数値とする。その次の令和4年度について、コロナ禍以前の数字に近づけていくような目標設定を行いたいと考えている。そのためには他課との調整が必要な部分もあるため、現在は空白としている。

委員○「5（1）文化芸術に触れる機会の充実」の指標を市民ホール等利用率としているが、市民ホール等の利用者は固定されてきており、同じ人ばかりが利用していることが考えられる。何度も利用する人も大事だが、ここでは違う角度から見る視点が必要ではないか。

事務局○集計の仕方として、何回目の来館か把握できているか確認する。また、別の角度からの集計も検討する。

委員○固定客はそのまま維持しつつ、新規利用の市民の割合で文芸センターの普及率を図ることができるかもしれない。

委員○重点プロジェクト「1. 南部地域活性化の取組み」について、助成金交付事業、ローズ文化ホール自主事業数、豊中市主催事業のうち南部地域での実施事業数は理解できるが、後援名義は、一般の市民にとっては、どうすれば申請できるのかなどよくわからない。今後、増やしていきたいということであれば、積極的に案内を行った方がいいのではないか。

事務局○後援名義は、申請をいただいたものに対し「後援：豊中市」と記載することができるもの。後援があることによりチラシの配架ができるケースがあるため、助成金対象事業であっても申請されることはある。今後積極的な案内を検討する。

委員○助成団体も後援名義申請ができるのであれば、指標の数値のカウントが重複する。
事務局○指標の集計に用いる事業に後援名義を加えることについて再度検討する。

委員○大阪音楽大学との連携事業をこれまで行ってきたと思うが、現在も行っているか。
また、それは重点プロジェクト「1. 南部地域活性化の取組み」の評価内に含まれているか。

事務局○現在も行っている。前年度は世界のしょうない音楽ワークショップがあり、「豊中市主催事業のうち南部地域での実施事業数」に含んでいる。

委員○では、大阪音楽大学との連携事業を増やすことでこの項目の上昇をめざすこともありうるか。

事務局○可能性としてはあり得る。

委員○指定管理者がどのような事業をしているのかがあまり伝わってこない。また、文化芸術センターの利用率が高く市民団体の利用ができないという声がある。

事務局○指定管理事業は広報誌に掲載しているほか、市民ホールウェブサイトにて掲載を行っている。特に小ホールについては、コロナ禍になる前は100%の利用率が続いており、市内団体であっても利用するのが難しい現状がある。吹田市のメイシアターの改修が終わり、また箕面市も新しいホールが完成したことから、今後の利用率は今よりも落ち着いていくと思われる。

会長○コロナ禍の影響を大きく受けており、今後の数値目標を立てるのが難しい状況。コロナ前の数字に戻していくことを目標にするとしても、項目によっては段階を踏んでいく必要がある。これから調整されるということなので、この件についても引き続きメール等でのやり取りを行う。

3. 令和3年度文化芸術振興助成金の審査結果について

会長○この案件については、豊中市情報公開条例第7条3項に規定する非公開の理由の1つである「公にすると率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」とし、今回の助成金の報告は非公開とさせていただきたい。

会長○案件3については非公開とすることでよろしいか。

(異議なし)

[案件3. は非公開]

4. その他

事務局○次回の審議会の実施時期は調整中で、11月頃に開催したいと考えている。後日連絡する。

○本日議論していただいた計画及び進捗管理は引き続きメール等にてやりとりをお願いしたい。

○会議録については事務局で作成した案を、後日、委員の皆様を確認後、確定させて

いただく。会議録については市のホームページで公開する。

[閉会]

(以上)